

研究課題名 肺癌 EGFR 遺伝子検査における細胞検体の有用性に関する検討

1. 研究の対象

新潟県立がんセンターで肺癌 EGFR 遺伝子検査を行った症例

2. 研究目的

現在、気管支鏡下採取検体から採取した組織検体で、肺癌 EGFR 遺伝子検査が行われています。しかし、細胞検体のみの採取や迅速性、検体の性質上、細胞検体が優れている場合もあります。本研究では、新潟県立がんセンター新潟病院において、2015～2022 年に肺癌 EGFR 遺伝子検査を施行された方を対象に、細胞検体における遺伝子検査の迅速性および核酸の品質について検証を行います。この研究により、組織検体と細胞検体の性質と核酸品質の検証が行われ、肺癌治療薬の選択時に対する貢献が期待できます。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2022 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料・情報の種類 研究に用いる試料は、生検・手術にて摘出された検体のホルマリン固定パラフィン包埋切片と細胞標本です。研究に用いる情報は、年齢、性別、現病歴、治療歴、病理組織診断、細胞診断、EGFR 遺伝子結果です。新たな症例番号を使用し、匿名化を行います。プライバシーに関する情報は個人 の人格尊重の理念の下、厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、万全な管理対策を講じ、プライバシー保護に努めます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院 研究部 病理部

当院研究責任者：畔上公子

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111（代表）